

事業所名

さくらんぼ

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念		利用者本人の自己決定権を尊重し、残存能力を活用したりハビリテーションを通して、ノーマライゼーションを目指します。					
支援方針		児童が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することが出来るよう、当該児童の身体及び精神状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。					
営業時間		10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	検温、体調チェックなどの健康状態に関わる支援。衣類の着替え、衣類畳みなどの生活スキルに関わる支援。 洗面、歯磨き、食事、排泄などの生活習慣に関わる支援。 食事でのアレルギーがある児童について保護者、栄養士と連携をとる。					
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を狙い、トランポリンや自転車、散歩などの運動の支援。 掴む、支える、滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供、ブロック遊びによる空間把握の認知形成。 ストレッチ、バランスボールでの姿勢保持、指先トレーニング。					
	認知・行動	活動を示すタイムテーブルの提示による時間の認知形成。 活動時の時間設定の為にタイマー使用。 デジタル表示、アナログ表示の時計の設置					
	言語 コミュニケーション	絵カードや文字を使った個別のスケジュールボードを活用して活動内容を把握してもらう支援。 気持ちや希望を絵カードを使って伝えるようになる為の支援。					
	人間関係 社会性	役割分担のある他児童との協同遊び。 イベントを通じた地域との交流。 ルールの理解が必要な遊びや集団活動。					
家族支援		家族からの祖横断に対する助言、家族からの進言に対する受け入れ、事業所での出来事、支援場面での気づきの報告、利用日変更の受け入れ。保護者のレスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援			移行支援	特別支援学校卒業後の進路についての本人や家族への相談援助。 移行先の情報提供。	
地域支援・地域連携		地域の公園での遊びの中で他者との関わりを経験してもらう。 近隣の短大の学園祭に出掛けてボランティアとの関わりの場を持ってもらう。			職員の質の向上	虐待防止委員会、法人内研修、自立支援協議会への参加	
主な行事等		買物学習、社会科見学、社会体験（電車、バス）					